事例No.	1180
公表年度	R2
団体の属性	指定都市
団体名	大阪府大阪市

事例区分	一般行政

タグ	・教育・子育て ・観光 ・地域運営組織

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

公立保育所等木製製品の整備促進事業

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

大阪府　大阪市（公立保育所等木製製品の整備促進事業）

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和元年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。

□ 事業内容

公立保育所等木製製品の整備促進事業

- 公立保育所において児童が使用する遊具・玩具・家具等について、国産木材を使用した製品を整備する

【事　業　費】27,548千円（うち譲与税27,206千円）

【実　　績】家具類（生江・鯰江保育所ほか3箇所）
玩具（市内公立保育所62箇所）
所庭用遊具（市内公立保育所6箇所）



before



after



所庭用遊具

□ 事業スキーム

一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- 木製製品の角の面取り寸法や用いる塗料等を児童の安全に配慮した仕様内容とした。
- 木のぬくもりに触れることで情緒を育み、安定した保育を実施する。
- 本物の木製品に触れることで、使い方により傷がつく木材の特性を学び、物を大切に扱う心を育む。
- シンプルな形状であるため、児童の想像力を高め、遊び内容が豊かになる。
- 手触り・音・ぬくもり・匂い・重さなど児童の五感に心地よさを与える。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	109,611千円
②私有林人工林面積（※１）	0ha
③林野率（※２）	0.0%
④人口（※３）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※４）	160人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」